**Just the Beginning**

**ほんの始まり**

二千じゅう四（よねん）六月（ろくがつ）はつか、午前（ごぜん）　じゅういちじ、この時（とき）、私の人生（じんせい）は、がらりとかわってしまいました。

恋（こい）に落ちたんです。日本に…。

その日、私はうまれて初めて日本をおとずれたのですが、それからの日本での日々があまりにもすばらしく、私を日本に夢中（むちゅう）にさせたんです。

いち 年後（ねんご）、わたしはふたたび日本を訪れました（おとずれました）。researchをしましたが、 私の日本語の知識（ちしき）はまったくありませんでした。でも（ことば）の 壁（かべ）があるにもかかわらず、たくさん日本人の友達ができました。 その中（なか）の一人（ひとり）が　私は彼（かれ）よりも日本人の友達が多いと言ったくらいです。

私は 日本人の友達からおおくのことを学びました：正確さ（せいかくさや）、他人（たにん）を尊重（そんちょう）すること、どんなに困難（こんなん）なときでも助けあう精神（たすけあうせいしん）。そして彼らも私から色々と 学びました：私と英語のれんしゅうをしたり、アラビア語で名前の書き方（かきかた）を学んだり（まなんだり）。雨（あめ）にかんしゃして、楽しんだり・・・、

あっ！最後（さいご）には日本の友達も口数が多く（くちかずがおおく）なっていましたよ。だって私はおしゃべりなエジプト人ですから、ね！

日本でできた友達のおかげで、私はほんとうに居心地が良く（いごこちがよく）、まるでじぶんの家（うち）にいるようでした。なぜなら、家（うち）とは愛（あい）する人（ひと）たちに囲まれて（かこまれて）、安心（あんしん）して、落ち着ける（おちつける）場所（ばしょ）だからです。

ただ、時々、日本語を話せないこと、みんなが私の人生にいてくれて、どんなに感謝（かんしゃ）しているかを伝えられない（つたえられない）ことを、本当に悲しい（かなしい）と（感じ）かんじました。

日本語を話なせる人に会う（あう）たびに、私も日本語が話せたらいいなあ！でも、すごく難しそうだし、それは不可能（ふかのう）なんじゃない？）とも思っていました。それから、私はじぶんに挑戦（ちょうせん）しようと決めました（きめました）。いつの間にか（いつのまにか）、日本語をべんきょうしているじぶんに気がつきました。

そして、今日というこのとき、二千じゅうはちねん　三月（さんがつ）とおか　午後二時（ごごにじ）、私は今（いま）初めて（はじめて）の　日本語スピーチをしています。それは、たったすうねんまえまでは、到底（とうてい）ふかのうだとおもっていたことです。 ほんとうにしんじられません！！。

でも、このさきの道のり（みちのり）はまだまだ長い（ながい）です。

だって、これはほんの始まりですもの、ね？